



Ishii Hakutei (石井)

### 石井柏亭

1882-1958年

宮坂勝より13才年長で、父祖とも画家の家の長男として東京に生まれる。本名・満吉。日本画、洋画、版画など表現方法は幅広い。美術団体の二科会や一水会の創設にも加わり、中央画壇の中心人物のひとりとして活躍。戦争で自宅を焼失後、縁あって松本市郊外の浅間温泉に疎開、そのまま晩年を過ごす。疎開した美術家たちを結集し、長野県内を巡回する全信州美術展覧会を画策し、1945年11月に開催。信州美術会の会長なども務め、宮坂勝らとともに若手作家たちの指導にあたる。また、自身の作品など19点を松本市に寄贈し、美術館建設への道を拓いた。晩年の作品は、信州風景を描いたものが多い。享年 76 歳。

# 宮坂勝と石井柏亭

## 二人の画家と松本と

Miyasaka Masaru and Ishii Hakutei  
Two Painters and Matsumoto

宮坂勝と石井柏亭。作風の対照的なこの二人の画家は、戦後信州の美術を興隆させた立役者でもあります。今回のコレクション展示は、一部ご所蔵者からのお貸出いただいた作品も特別出品し、二人の画業を改めて顕彰するものです。



Miyasaka Masaru

### 宮坂 勝

1895-1953年

現在の松本市梓川に酒造業を営む家の次男として生まれる。東京美術学校（現在の東京藝術大学）西洋画科を卒業後、画家を志して渡ったフランスで、自身の作風を根本から見直すことになる。帰国後は母校の松本中学校（現在の松本深志高校）で美術教師として教壇に立ち、地元で美術団体や美術研究会を創設し、後進の指導に情熱を注ぐ。国画会の会員となり、帝国美術学校（現在の武蔵野美術大学）の教授としても活動。戦時中に実家に疎開し、戦後は信州美術会の支部・中信美術会の初代会長に就任、地元の美術講習会の指導者としても熱心な美術教育をおこなったという。再度、フランスへ渡ろうと画策していた矢先、病に倒れる。享年 58 歳。

2017年 11月7日[火] ~ 2018年 2月18日[日]

月曜日(祝日の場合はその翌日)と年末年始(12/29~1/2)は休館

■会場/常設展示室B

■観覧料/大人.....410円  
大学高校生.....200円  
中学生以下と70歳以上の松本市民.....無料

■開館時間/午前9時~午後5時 入場は午後4時30分まで

### アートレクチャー「宮坂勝と石井柏亭」

コレクション展示の担当学芸員による講座。二人の作品の特徴などをお話しします。

■日時 平成29年11月22日(水)午後1時30分から  
■会場 松本市美術館講座室 ■料金 無料  
■お申込みは美術館 ☎0263-39-7400へ

定員  
20名  
程度



〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22  
TEL.0263-39-7400 <http://matsumoto-artmuse.jp/>

詳しい情報はホームページをご覧ください ▶▶▶▶▶▶▶▶

